

製品別比較表(先発品との比較)

ダイト株式会社

	後発品	標準品		
商品名	ドパコール配合錠L250	ネオドパストン配合錠L250 メネシット配合錠250		
販売会社名	扶桑薬品工業株式会社			
規格「一般名」	1錠中「レボドパ」を250mg、「カルビドパ水和物」を27mg(無水物として25mg)含有			
薬効分類	116 抗パーキンソン剤			
薬価	32.40円/1錠	41.80円/1錠 33.40円/1錠		
1錠薬価差	9.40円 1.00円			
効能・効果	パーキンソン病、パーキンソン症候群 【標準品と同じ】			
用法・用量	<p>レボドパ未服用患者: 通常成人に対し、レボドパ量として1回100~125mg、1日100~300mg経口投与よりはじめ、毎日又は隔日にレボドパ量として100~125mg宛増量し、最適投与量を定め維持量(標準維持量はレボドパ量として1回200~250mg、1日3回)とする。 なお、症状により適宜増減するが、レボドパ量として1日1,500mgを超えないこととする。 (参考)本剤による成人投与例 1回1錠、1日1~3錠よりはじめ、毎日又は隔日に1錠宛増量し、最適量を定め維持量(標準:1回2錠、1日3回)とする。症状により適宜増減するが1日15錠を超えないこと。</p> <p>レボドパ既服用患者: 通常成人に対し、レボドパ単味剤の服用後、少なくとも8時間の間隔をおいてから、レボドパ1日維持量の約1/5量に相当するレボドパ量を目安として初回量をきめ、1日3回に分けて経口投与する。以後、症状により適宜増減して最適投与量を定め維持量(標準維持量はレボドパ量として1回200~250mg、1日3回)とするが、レボドパ量として1日1,500mgを超えないこととする。 (参考)本剤による成人投与例 レボドパ単味剤の服用後、少なくとも8時間の間隔をおいてから、1日維持量の約1/5量に相当するレボドパ量を目安として初回量をきめ、1日3回に分割経口投与する。以後、症状により適宜増減して最適量を定め維持量(標準:1回2錠、1日3回)とする。1日15錠を超えないこと。</p> 【標準品と同じ】			
添加物	結晶セルロース、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム、黄色5号	部分アルファー化デンプン、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、青色2号		
規制区分	処方箋医薬品	処方箋医薬品		
貯法・使用期限	開封後は遮光・室温保存 3年	遮光、室温保存 3年		
製剤	商品名	外観(重量、長径、短径、厚さ)	性状	識別コード
	ドパコール配合錠L250	 440mg 11.0mm 4.4mm	うす紅色の素錠(割線入り)	DK501
標準品	 380mg 14.9mm 8.2mm 4.4mm	うすい青色のだ円形の素錠		
製剤特性	特になし			

<p style="text-align: center;">薬物動態 (生物学的 同等性)</p>	<p style="text-align: center;">溶出試験 レボドパ</p>	<p style="text-align: center;">カルビドパ水和物</p>
	<p>ドパコール配合錠L250はドパコール錠100mgと成分組成比が類似しており、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン(平成12年2月14日 医薬審64号、平成18年11月24日一部改正)」に基づき、溶出挙動を比較したところ同等と判断され、両剤は生物学的に同等とみなされた。</p>	
<p>備考</p>	<p>担当者、連絡先</p>	